

こんにちは!

横浜市議員

# こしいしかつ子



-働く女性・母親の目線で地域の課題を市政に届けます- **です!!** [レポートNo.16]

発行元：輿石且子政務調査事務所 横浜市栄区公田町514 TEL045-894-9956 FAX045-894-9957 <http://www.koshihishikatsuko.jp/>

## 学童保育のこと（放課後児童育成事業）

横浜市の放課後児童育成事業は、都道府県などの広域自治体とは別に、横浜市が独自に行う施策です。財源は市費と国費によってまかなわれます。

現在、子どもを受け入れる事業所は学童・はまっこ・キッズの3つで、それぞれの特徴にあわせて行政が関わり運営されています。

私は、子どものいる時間、あるいはいない時間に、現場や、保護者の方、小学校や近隣の方々をお訪ねして、視察をしながらいろいろなお話を聞かせていただいています。時間の経過とともに子どもの年齢も進み、矛盾や不本意さを抱えながらもなんとかその時期を過ぎていくのが現実であり、まだまだ問題点があるようです。



## 逗子市の学童を視察

5月17日に逗子市の学童を視察しました。

ここは昨年、民間委託を開始して株式会社運営となっています。

建物は新しく、小学校に隣接する公園の敷地に建てられていました。公園は縮小したものの、犬の散歩などで近所の方が利用するスペースも残っています。

また、逗子市にも「はまっこ」と同じように、校舎内に設置され居場所づくりを基本とする仕組みがあります。子どもたちもお互いを理解しているようで、校庭でも上手に交流していました。



横浜市の学童保育実施数は、平成24年度に203か所であり、運営主体は運営委員会（保護者、自治会、学校、民生委員など）によるものが175か所、法人が28か所です（株式会社除く）。

栄区内の学童をのぞかせて頂いたり、保護者の方の話を伺ったりすると、建物の老朽化が目立つ、室内が狭い、職員の皆さんの働く条件が極端に悪いなど、様々な問題が聞こえます。一方で、指導員の方々の献身的な姿にとても頭が下がりますし、保護者の方々の協力もとてもしっかりしています。そのおかげ様で子どもたちは楽しく充実した時間を送っています。

ここで、指導員の方々のお勤めの対価試算などに思いを巡らせていただくと、子どもたちの放課後というのは案外短時間だということ、しかし、指導員のみなさんはひとりひとりの特性に配慮した計画を立てたり、準備や後片づけなどにも余念無く、また関係機関とのやりとりなどにも時間を費やしてくださいませ。これらを単純に時給換算してしまうと、労力に見合わない結果になってしまいます。

熱意のある指導者に、安定とやりがいを持っていただきながら、横浜市の大切な子どもたちが、のびのびと健やかに育ち、感謝の心をもった大人に育ててほしいと願います。

そして、横浜市の小学生の保護者のみなさん、さまざまな関係者の皆さんには、子どもたちが放課後をどのように過ごして、どんなことを体得しながら成長してもらいたいのか、あらためて話し合い、考える必要があるのではないかと感じます。

今後も、市内市外問わず様々な現場を視察させていただき、よりよい方策を求めて、みなさまとともに考え実行していきます。

オリジナルの記事はこちらのブログでご覧いただけます  
こしいしかつ子オーバルブログ <http://katsukok.jugem.jp/?eid=215>

